

耳鼻咽喉科・頭頸部外科 ～従来型～

【目的】

耳鼻咽喉科は、耳鼻咽喉科・頭頸部外科疾患を診断し、治療する専門分野の1つである。当科で扱う領域は気道に関連して様々な機能を持ち、中でも近年増加傾向にあるアレルギー性疾患や頭頸部悪性疾患、聴覚・平衡覚をはじめとした感覚器疾患などに関しては、耳鼻咽喉科の専攻の有無に関わらず、臨床医として正しい耳鼻咽喉科・頭頸部外科学の知識を持つ必要がある。

本実習によって、耳鼻咽喉科・頭頸部外科疾患への理解を深め、臨床医としての幅広い知識の獲得をめざす。

【実習の実際】

外来実習

到達目標：外来患者診療を適切に実施できる能力を養う。

- 1) 適切な問診がとれる能力と共に、患者心理を理解し、患者に接する態度を身につける。
- 2) 耳鼻咽喉科所見の診察法を習得する。
- 3) 問診・耳鼻咽喉科所見に応じて、検査計画を立てる能力を習得する。
- 4) 耳鼻咽喉科検査法について、適応や検査法の実際を理解する。

病棟実習

到達目標：主治医団と行動を共にし、入院患者に対する全身及び局所管理が適切に行えるように、基礎知識と技術を養う。

- 1) 診療記録の記載が正確にできる。
- 2) プレゼンテーションが効率よくできる。
個々の患者に対して、適切な治療計画を立案する。
- 3) 担当患者に対して入院の原因となった病態の医学的な理解を深め、患者のQOLを考慮した全人的なアプローチを学ぶ。
- 4) 病棟におけるチーム医療の一員として医師のなすべき役割を理解する。

手術室実習

到達目標：耳鼻咽喉科手術手技の実際について理解を深める。

- 1) 一般的な外科手術手技のみではなく、耳鼻咽喉科に特有の内視鏡・顕微鏡下手術を理解する。
- 2) 主治医団と共に手洗いをし、手術を間近に見ることで耳鼻咽喉科領域の解剖ならび

に疾患の病態に関する理解を深める。

3) 術前・術後の患者管理について習得する。

【集合場所】

第一週月曜日は耳鼻咽喉科医局（研究棟 A 1 階）に午前 9 時に集合すること。

以後はオリエンテーションにて指示。

【週間スケジュール】

基本週間スケジュールは下記のごとくであるが、研修希望者の希望や実習期間等も考慮に入れて、個別にスケジュールを決定する。詳細はオリエンテーションにて指示する。

（学外実習先については、あらかじめ教務担当者井門に連絡を取り相談すること）

	午前	午後
月	実技実習	回診・病棟
火	関連病院にて実習	
水	手術	手術
木	関連病院にて実習	
金	手術	手術

【評価】

学生の評価は以下のように行う。

評価項目	配点
指導医による学生の行動内容の評価	20
教授回診での患者提示のでき具合	10
カンファレンスでのプレゼンテーション	10
画像診断	10
耳鼻咽喉科検査	10
耳鼻咽喉科手技	20
ケースレポート	20

【担当教官】

平川 勝洋	教授
竹野 幸夫	准教授
工田 昌也	講師
井門 謙太郎	医局長・教務担当
上田 勉	病棟医長
石野 岳志	助教
小川 知幸	外来医長
宮里 麻鈴	助教
石橋 卓弥	助教

【研修予定施設】

県立広島病院
広島赤十字・原爆病院
広島市立安佐市民病院
マツダ病院
JA 広島総合病院
国立病院機構呉医療センター・中国がんセンター
呉共済病院
中国労災病院

【連絡先】

教務担当：井門 謙太郎
e-mail.ken@hiroshima-u.ac.jp
Tel. 082-257-5252